

SDGsをテーマとした 教育講座の実施

①直営学童事業におけるSDGsをテーマとした教育講座の実施

(1) KBC α 店舗の独自プログラムとして子どもたちのコミュニケーション力形成を謳った講座を開講。2022年度は計24回×2店舗(上級生クラス開講店舗)で以下のプログラムを実施。

◇通年テーマ「平和について」(SDGs項目:1~6,8,14,16)

4月~6月 戦争による貧困や影響等に関する知識習得

7月~9月 テーマを絞り課題認識のための情報収集(課題図書による深掘り)

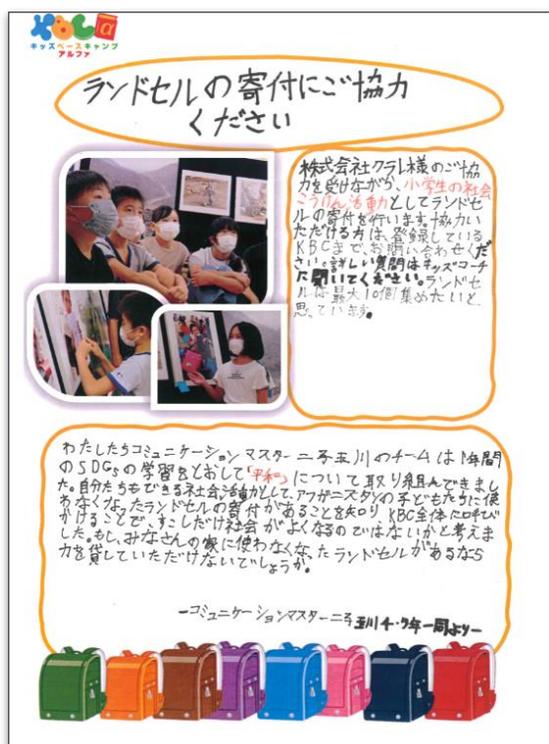
10月 課題について深掘りするワークショップ(ボランティア活動している方からのお話)

11月 課題について自らできることを考え、実行する。

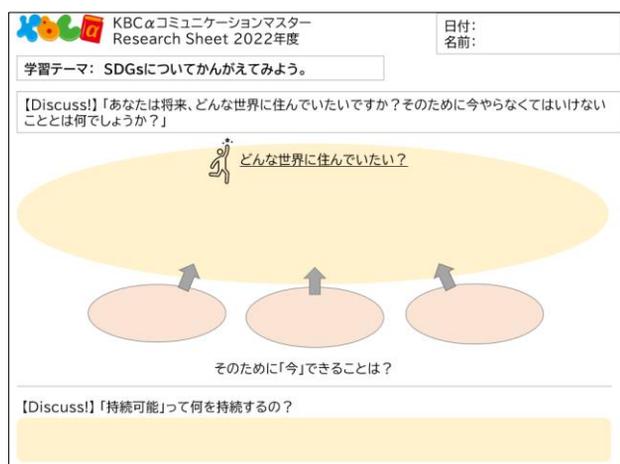
⇒(株)クラレとコラボレーションし、アフガニスタンへのランドセル寄付活動に参加。

~3月 一年の学習の集大成である「スピーチコンテスト」の準備~発表

環境問題や世界平和に関する意見を子ども一人ひとりが自身の言葉で形成・発信する。



寄付活動用のポスター



私は、水がない国があるということを知り驚きました。アフガニスタンの話を調べていると、SDGsの17個の目標がたくさん出てきて、すべての問題がつながっているということにも気が付きました。

こちらから見ると、貧しくてかわいそうだと思いましたが、写真の中のアフガニスタンの人はみんな笑顔でした。日本から見て「あたりまえ」と思うことができなくても、現地の子どもたちの「あたりまえ」は別にある、と教わりいろいろな形の幸せがあるということに気づきました。

講座資料・受講者感想の抜粋

2022年度スピーチコンテスト(2023/3開催)

参加者 子ども:約120名 大人:約240名
2日間にわたり過去最大規模での開催。



①直営学童事業におけるSDGsをテーマとした教育講座の実施

(2) KBC∞店舗の夏期特別イベント並びに通常イベントプログラムにて

・夏季特別イベントプログラム(自由研究講座)

テーマ:海の豊かさを守ろう

・・・SDGs14項目「海の自然を守る」のテーマでマイクロプラスチックについて

体験型のリサーチワークショップを行いました。前半は店舗にて座学学習で問題点や課題をインプット、後半は座学で身に着けた知識をもとに水族館へいきりサーチ活動を行った。

・∞限定通常イベントプログラム 子どもせかいフォーラム グローバルイシューズ

テーマ:「原子力発電ってなあに？」

・・・海外のエネルギー供給源と日本の現状を比較したり電力の歴史を学び、子どもたちとディスカッションし、意見を出しあった。

(3) KBC店舗の通常イベントプログラムの中で

レギュラー会員向けに以下環境関連教育イベントを計2回×13店舗にて実施。

・『水』について知ろう！

・・・水の大切さを教えるためのイベント講座。ペットボトルから水を出し、限られた水量で手洗いをする「手洗い名人チャレンジ」なども含めた体験型学習をした。

・「大切な食べ物について考えよう」

・・・独自協力を得た沿線のブロッコリー農家さんのお話をもとに野菜の製造～販売の工程を学習し、茎まで残さない食べ方を学ぶ。最後には子どもたちで考えをまとめた。



手洗い名人チャレンジ学習の様子

ブロッコリーの農家の山本さん

12 つくる責任
つかう責任



ブロッコリーはとてもおいしい野菜です。
ひとつひとつのブロッコリーを
一生懸命、毎日大切につくっています。

『つかう責任』をはたすためにも
ぜひ、くきもむだにせず
おいしく食べてもらいたいです！

僕もKBCのみんなが野菜を残さずにおいしく食べられるように
『つくる責任』をもってこれからもがんばります！



講座資料抜粋

②KBCほいくえん全園での木育の実施

保育園事業開始から全園で「木育」の取り組みを実施している。2018年2月28日に「ウッドスタート宣言」(東京おもちゃ美術館(運営:認定特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会)と調印。日本グットトイ委員会が展開している「木育」の行動プランのことを指す。)を行って以来、木を中心に置いた子育て・子育て環境の整備をすることで、子どもをはじめとする全ての人たちが、木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを実現することを目指している。

事業開始から5年目となる現在も継続しており、KBCほいくえんの独自価値の一つでもある。具体的な実践内容としては、保育備品や玩具といった木を使った環境整備のほかに、森の保育園の活動に関する専門研修への保育士派遣や木など自然素材や廃材を活用する子どもたちの創作活動などがある。「木育」の資材には森を維持するために必要な間伐材を使用することで、日本の森を守ることに貢献している。

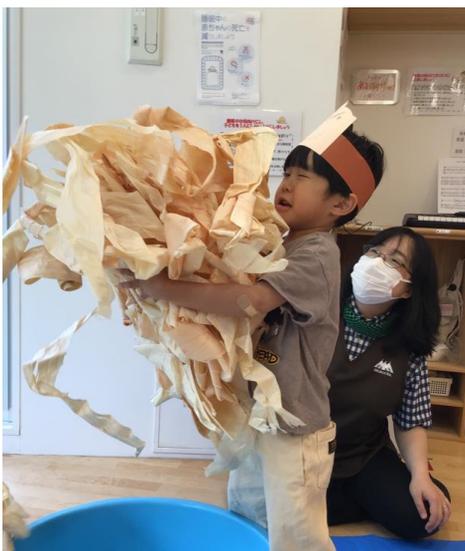
また、KBC従業員に子どもが生まれた際は、会社からのお祝いとして檜原村産の木のおもちゃを贈呈している。



ウッドスタート宣言調印



KBCほいくえん祐天寺の園内写真



← ↓木育あそびの様子



③当社の全事業にわたる「エコボラキッズ研究所」活動

創業当初からのKBC学童の独自価値として提供している「12の知恵」を育成する活動の一環として「エコボラキッズ研究所」がある。

(<https://plaza.rakuten.co.jp/kidsbasecamp/diary/200612280000/>)

「ボランティアをやらせてほしい」という保護者の声から、「キッズパトロール」という街のゴミ拾いが始まり、その活動をきっかけに子どもたちに芽生えた公共心やエコに関する好奇心を伸ばしている。こうして生まれたプログラムである。主に①ボランティア精神や他者を思いやる気持ちを体験の中から養うこと、②生活環境の美化習慣の形成を目的に提供している。

地域ボランティア(ゴミ拾いなど)への参加の他、環境保護・社会貢献に関する教育講座の実施等の形で継続しており、現在では、直営学童事業のみならず、公設学童の運営受託施設や当社保育園にも拡張して取り組んでいる。活動の中では他参加者である高齢者と協業する等、世代間交流を促進して街の活性化にも寄与している。

近年ではSDGs目標と重なる要素も多いため、当社価値PR要素としてもさらに訴求を強化している。公設学童受託事業でも当取り組みや実績を当社運営学童の魅力として、事業者採択のコンペティションでプレゼンをし高評価されたこともあり、2022年度中にも学童運営の新規受託が5件(うち4施設は翌年度運営開始、1施設は翌々年度運営開始予定)決定している。



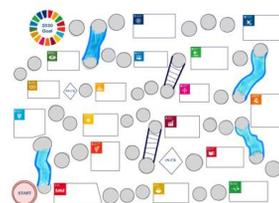
イベント		日常	
キッズMBA(お仕事と社会)	KBCマナー&生活技術	帰りの会や掃除	キッズコーチによるコーチング
エコボラキッズ研究所	食育、歳時記、クッキング	外遊び	学習習慣サポート
アート工作	アウトドア&ツアー	スポーツ大会	アウトドア&ツアー

KBCサービス案内パンフレットより抜粋

↑ ↓エコボラの様子(保育園、学童会員のごみ拾い)



ミッション：SDGsすごろくを作ろう



講座コンテンツ例